

看護専門科目	共通基盤看護学					
看護学科	必修	2単位	演習	平成30年度	前期	3年次
科目名	共通基盤看護学実践論Ⅲ（急性期療養過程を支える看護） Adult Health Nursing III (nursing for recuperation process in acute phase)					
担当教員	◎林みよ子 松井利江 山中政子 森知美					
目的	急激な身体侵襲を受けた成人期にある人とその家族に対する看護を実践するための基礎的な知識と技術を理解する。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的な急性疾患および手術が患者の身体・心理・社会的側面に与える影響を説明できる。 2. 急性期にある人の生命を維持し回復を促進するための援助方法が説明できる 3. 急性期にある人の家族の身体的・心理社会的苦痛を説明できる。 4. 周手術期にある患者の術前術後の看護アセスメントおよび看護計画立案ができる。 5. 模擬患者を対象として看護技術を実施し、実際場面に適用する時の課題を記述できる。 					
他科目との関連	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本科目は、以下の科目における既習内容を基盤とする。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 共通専門基礎科目のうちの【体のしくみと医療】科目群 2) 看護専門科目のうちの既習の【共通基盤看護学】科目群 2. 本科目は、共通基盤看護学実習Ⅳにつながる。 					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験				0.8
	記録等	紙上事例の看護過程展開記録				0.2
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	指定なし					
参考資料	北島正樹・江川幸二編（2017）臨床外科看護各論．医学書院 中島恵美子・山崎智子・竹内佐智恵（2017）周手術期看護．メディカ出版 雄西智恵美・秋元典子編（2014）成人看護学・周手術期看護論．ヌーベルヒロカワ 黒田裕子編（2013）成人看護学（第2版）．医学書院					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	<ul style="list-style-type: none"> ・既習科目「体のしくみと疾病の成り立ち」を復習して講義に臨むこと。 ・演習は、後期科目「共通基盤看護学実習Ⅳ」につながる内容である。実習の事前学習としてしっかり取り組むこと。 ・講義内容等で理解できないことがあれば早めに担当教員に申し出、自己学習が効果的に進められるように取り組んでください。 					